

交付申請図書の作成要領（棟別様式）

提出書類	記入例	様式、縮尺	チェック欄
① 建築士による適合確認書	例-3	別添1	<input type="checkbox"/>
1.個別事案の基本事項 2.申請者等の概要 3.一次エネルギー消費量（削減量）の適合状況 提案申請時と今回の実際の設計との差異を確認します。 また、今回の計算結果の根拠も別添として提出します。 （必要に応じて、提案時に使用した算定用Webプログラムや、提案申請様式4-①～4-6の使用も可とします。ただし、交付申請の計算書であることを明記すること。） （仕様等の変更は認められますが、変更後も事業の要件に適合することはもちろん、公募時の一次エネルギー消費量に関するエネルギー率を下回することは認められません。）			
・エネルギー消費削減量の計算書【総括表】 様式4 一式			<input type="checkbox"/>
・一次エネルギー消費量（削減量）の評価結果シート（Web算定プログラム等）			<input type="checkbox"/>
4.省エネルギー基準への適合状況 判定根拠及び提案した省エネ手法（補助対象項目）からの変更の有無及びその詳細を記載した別添書面等			
いずれかを提出	・年間暖冷房負荷の計算書	任意様式	<input type="checkbox"/>
	・熱損失係数及び夏期日射取得係数の基準の計算書	任意様式	
	・断熱材、開口部 仕様基準確認表	例-4 別添1-添付資料	
	・設計住宅性能評価書 （上記評価基準以外で建設住宅を取得する場合のみ）	写し	
② 案内図：最寄駅及び目標となる建物を明示		任意縮尺	<input type="checkbox"/>
③ 配置図：縮尺、方位、敷地の境界及び道路の位置を明示		1/100程度	<input type="checkbox"/>
④ 仕様書：物件名等、 提案項目を明示			<input type="checkbox"/>
⑤ 平面図：縮尺、方位、寸法、室名、 提案項目を明示		1/50程度	<input type="checkbox"/>
⑥ 立面図：縮尺、寸法 4面以上、 提案項目を明示		1/100程度	<input type="checkbox"/>
⑦ 矩計図： 提案項目を明示		1/20程度	<input type="checkbox"/>
⑧ 提案項目に対する設備図、計画図（ 設置位置を明示 ）： 設備位置図、換気設備、照明設備、太陽光発電等		1/100程度	<input type="checkbox"/>
⑨ その他（提案内容が確認できる資料、カタログ等の写しで、 設備機器や材料の性能値を明示したもの ）			<input type="checkbox"/>
⑩ 請負契約書、見積書等（明細が確認できる資料） 補助対象工事項目、金額の明記		任意様式	<input type="checkbox"/>
⑪ 掛かり増し費用算定書 （掛かり増し費用での申請の場合のみ提出）		参考様式	<input type="checkbox"/>
⑫ 補助金に関する合意書（建売住宅以外の場合）		任意様式（写し）	<input type="checkbox"/>
⑬ 補助金に関する確約書（建売住宅の場合のみ）		任意様式（写し）	<input type="checkbox"/>

（注）添付する図面や資料には、補助金申請額やエネルギー消費削減率の**算定根拠となる部分（数値、算定式など）にマーカーを入れ、わかりやすい表示**として下さい。

建築士による適合確認書

当該申請に係る住宅の一次エネルギー消費量の評価結果、省エネルギー基準への適合状況及び当該申請に係る住宅の設計内容と住宅のゼロ・エネルギー化推進事業の提案申請に記載されている提案内容との適合状況は次のとおりであることを証明する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

二級建築士の場合は登録番号頭に都道府県を入れて記載すること。

一級建築士 大臣登録 〇〇〇〇号
建築士の氏名 〇〇 〇〇 (印)

提案書に記載したものと同一事業名です。

1. 建築物の基本事項

事業名	〇〇〇〇〇〇〇〇	
事業の区分と名称	区分: 新築 改修	名称: 〇〇 〇〇様 邸
所在地	東京都世田谷区経堂〇丁目〇番地〇〇	
用途	<input checked="" type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 併用住宅	
構造・工法	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> その他 ()	
延べ面積・階数	延べ面積: 100.00 m ² 地上 2 階 地下 0 階	

(注) 1. 「事業名」欄には、提案申請書様式 1 に記載されている「事業名」を記載すること。

2. □には該当するものにもしくはを記入す

断熱化された部分の床面積を記入してください。(車庫、屋外物置等は省きます。)

全体様式の提案者名と同一名です。

2. 請者等の概要

申請者	氏名又は名称 株式会社〇〇〇工務店 住所 東京都渋谷区神南〇丁目〇番〇〇号
建築主	氏名又は名称 〇〇〇〇 住所 東京都世田谷区経堂〇丁目〇番地の〇
設計者	資格 (一級) 建築士 (大臣) 登録〇〇〇〇号 氏名 〇〇〇〇 建築士事務所名 (一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録〇〇〇号 株式会社〇〇〇〇工務店一級建築士事務所 所在地 東京都渋谷区神南〇丁目〇番〇〇号 電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

3. 一次エネルギー消費量（削減量）の適合状況

(1) ゼロ・エネルギー住宅の種別

適用した判断基準	<input checked="" type="checkbox"/> ① 一次エネルギー消費量の算定要領に基づく評価結果 <input type="checkbox"/> ② 標準的な住宅の一次消費エネルギー量が概ねゼロとなるとみなす仕様 <input type="checkbox"/> ③ 審査委員会によって上記 ①、②の基準と同等以上の性能を有する住宅と認められたもの
----------	--

(注) 該当するものにもしくはを記入すること。また審査委員会から認められたものについては、別途審査結果書面を添付する事。

適用した判断基準にまたはを記入します。

(2) 評価結果 < (1) で ①、②を選択した場合

提案書に記載した数値を記載します。

ゼロ・エネルギー化	補足説明 ※	提案時 数値基準	今回の 申請結果	適合性 評価
エネルギー消費削減率 (%)	(R)	107.5%	110.8%	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> 適 不適
標準エネルギー消費量(補正後)	正味エネルギー (E _{ST'})	45.3GJ	45.3GJ	
当該住宅のエネルギー削減量	断熱, 設備の性能向上等による (S _{SUBTOTAL})	5.9GJ	5.9GJ	
	太陽光発電 (S _E)	42.8GJ	44.3GJ	

今回申請する数値を記入します。
 提案時からの変更がある場合のみ、再度算定用Webプログラム等で計算し直した計算書（提案申請様式4、算定用Web算定プログラム）を添付します。

(注) 「適合性評価」欄には、どちらか該当する方にを記入し、今回の申請結果が同等もしくは上回る場合のみを記入すること。

※ 提案申請様式4-①（エネルギー消費削減量の計算書【総括表】）の 3. 一次エネルギー消費量の計算結果表に記載された記号を参照し、該当する記号の計算結果の値を転記すること。

(3) 一次エネルギー消費量（削減量）の評価結果シート

提案申請様式 4-① ~ 4-6 の該当する様式と、算定用Webプログラムを提出すること。

(4) 評価結果 < (1) で ①、②を選択した場合

提案内容（仕様・性能）	提案時に提出したエネルギー消費削減量の計算書（提案申請様式4-①~4-6）のうち、エネルギー削減率の算定に使用した様式を提出します。同時に、計算過程で使用した算定用Webプログラムの計算結果出力も添付します。 （仕様等の変更は認められますが、提案時のエネルギー削減率を下回ることは認められません。）		
	有	無	適 不適

4. 省エネルギー基準への適合状況

省エネルギー基準に基づく判定根拠を記載します。

該当する地域区分を記載します。

措置の項目 : 外壁、窓等からの熱の損失の防止のための措置
 地域区分 : **IV b** 地域

省エネルギー性能		該当地域の 数値基準	今回の 申請結果	適合性の 評価
<input type="checkbox"/> 年間暖冷房負荷の基準	年間暖冷房負荷 [MJ/ (m ² ・年)]			適 不適
<input type="checkbox"/> 熱損失係数及び夏期日射取得係数の基準	熱損失係数 [W/ (m ² ・K)]			適 不適
	夏期日射取得係数			適 不適
<input checked="" type="checkbox"/> 仕様規定 (設計・施工指針)		等級4 (ウ)	等級4 (ウ)	適 不適

- (注) 1. エネルギーの使用の合理化に関する法律第75条の規定による届出書(以下、単に「届出書」という。)を所管行政庁に提出している場合、又は住宅の品質確保等に関する法律第6条に規定する設計住宅性能評価書を取得している場合にあっては、その写しを添付すること。この場合、上記項目の記載は不要。(設計住宅性能評価によるものは、実績報告時に建設住宅性能評価書の写しを添付すること)
2. 該当項目の根拠となる計算書等の資料を提出する
3. 仕様規定を適用する場合は、別添1-添付資料も提出する

提案時からの変更の有無に係らず記入すること。交付申請等マニュアルに記載された、補助対象となる設備項目の一覧表(P11~)等を参考に、具体的な性能値等を記入すること。

省エネルギー措置の項目 : 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用の措置

省エネルギー性能	提案時からの 変更	今回の申請時の仕様
基本仕様	空気調和設備	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> ルームエアコン(高効率型) <主たる居室> 冷房: COP〇.〇 (冷房能力: 〇.〇kW、消費電力: 〇〇〇W) 暖房: COP〇.〇 (暖房能力: 〇.〇kW、消費電力: 〇〇〇W) <その他の居室> 冷房: COP〇.〇 (冷房能力: 〇.〇kW、消費電力: 〇〇〇W) 暖房: COP〇.〇 (暖房能力: 〇.〇kW、消費電力: 〇〇〇W) 統一省エネラベル4つ星(2011年基準)
	機械換気設備	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 第三種換気(壁掛け排気型ファン) 比消費電力: 〇.〇〇W/(m ³ /h)
	給湯設備	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 高効率給湯器(エコジョーズ) 省エネ基準達成率: 〇〇〇% 給湯熱効率: 〇.〇〇 節湯型機器(台所): 節湯AB 節湯型機器(浴室シャワー): 節湯B
	照明設備	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> LED、蛍光灯(インバータータイプ、センサー付き)
その他	コージェネレーション・太陽熱利用	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 提案無し
	太陽光発電設備	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 発電出力: 4.0 → 4.3kW 方位: 真南 → 西へ20° エネルギー消費削減量: 4.3×10.3 = 44.3kW

提案時の仕様を変更した場合は、有に〇をつけます。

変更がある場合は変更内容も記入すること。

- (注) 「適合性の評価」及び「提案時からの変更」欄には、どちらか該当する方に〇をつけること。ただし、提案時の基準値より今回の申請結果が同等若しくは上回る場合のみ「適」に〇をつけることとする。

別添1-添付資料

断熱材、開口部 仕様基準確認表

例-4 (棟別)

物件名	〇〇 〇〇 邸	地域区分	IVb	区分記号 (断熱性能)	等級4 (ウ)
建物の構造	木造 在来軸組	性能区分	無し・躯体強化型・開口部強化型 開口部強化型-1・開口部強化型-2		

部位名		該当地域における 断熱性能の基準値 熱抵抗値 (m ² K/W)	今回の申請での 断熱材の材質 ・断熱材の材質 ・熱伝導率 λ ・厚さ d ・熱抵抗値 R	適合性の評価
屋根	充填	4.6	A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板特号 熱伝導率 λ=0.033 W/mK 厚さ d=180mm 熱抵抗値 R=5.4	適・不適
	外張			
天井			トレードオフを利用する場合は、該当部位の仕様及び断熱性能欄に明記してください。	適・不適
外壁	充填	2.2	高性能グラスウール 16K 熱伝導率 λ=0.038 W/mK 厚さ d=105mm 熱抵抗値 R=2.7	適・不適
	内張			
外張				
床			鉄骨造で熱橋部の基準値がある場合は、外皮部材の性能等も含めて記入してください。	適・不適
基礎 土間床	外気に接する部分	1.7	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種(充填断熱) 熱伝導率 λ=0.028 W/mK 厚さ d=50mm 熱抵抗値 R=1.7	適・不適
	その他の部分			

開口部	熱貫流率 (W/m ² K)	今回の申請での仕様及び断熱性能 ※ ・サッシの材質 ・熱貫流率 U=W/m ² K	適合性の評価
窓	4.65	アルミ樹脂複合サッシ 熱貫流率 U=2.330 W/m ² K	適・不適
玄関戸	4.65	金属製フラッシュドア 熱貫流率 U=2.330 W/m ² K	適・不適
その他 開口部			適・不適

※トレードオフを利用する場合は、該当する部位の仕様及び断熱性能欄にその旨を記載すること。